

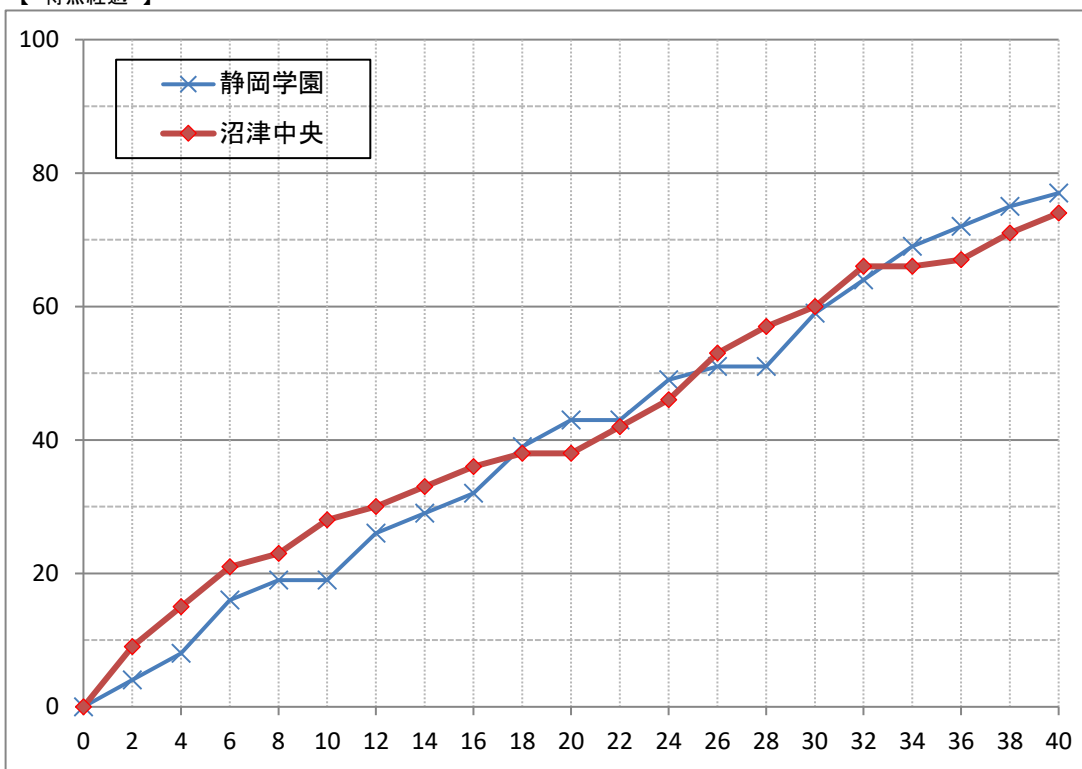
令和元年度東海高等学校バスケットボール新人大会静岡県予選兼静岡県高等学校バスケットボール新人大会県大会

【得点経過】

男子決勝リーグ

試合日	2020年2月2日
会場	静岡県武道館
コート	Bコート
開始時間	13:00

TEAM A		TEAM B
静岡学園 (中部)	77	74 沼津中央 (東部)
	19 - 28	
	24 - 10	
	16 - 22	
	18 - 14	
	OT	



TEAM A		静岡学園 (中部)		PTS	3P	2P	FT	F
No	S	選手名						
4	*	小川大新		16	4	2	0	1
5	DNP	中川賢信		0	0	0	0	0
6		本杉竜希		4	0	2	0	3
7		松下澪司		3	1	0	0	1
8	*	良知宏		16	1	5	3	4
9	*	保谷蒼空		24	2	7	4	1
10	DNP	齋藤龍哉		0	0	0	0	0
11	*	三井勇一郎		2	0	1	0	3
12	DNP	北堀晃征		0	0	0	0	0
13	DNP	吉松拓海		0	0	0	0	0
14	DNP	武田義隆		0	0	0	0	0
15	*	瀧澤良斗		12	2	3	0	4
TEAM/COACH				/	/	/	/	0
TOTAL				77	10	20	7	17

TEAM B		沼津中央 (東部)		PTS	3P	2P	FT	F
No	S	選手名						
4	DNP	濱野大和		0	0	0	0	0
5		富井楓太		0	0	0	0	1
6	*	弓削田修都		9	1	2	2	2
7		小瀬村雄大		5	0	1	3	5
8	*	新井楽人		22	1	9	1	2
9	DNP	秋山陽太		0	0	0	0	0
10	*	村上瑠惟		13	0	5	3	3
11	*	福島寿希也		17	1	5	4	2
12	*	吉戸皓大		8	0	4	0	2
13	DNP	浜田海都		0	0	0	0	0
14	DNP	松浦渚		0	0	0	0	0
15		滝野侖太		0	0	0	0	1
16	DNP	永瀬颯大		0	0	0	0	0
17	DNP	松永蓮		0	0	0	0	0
18	DNP	富樫一颯		0	0	0	0	0
TEAM/COACH				/	/	/	/	0
TOTAL				74	3	26	13	18

【戦評】

1Q 静岡学園マンツーマン、沼津中央2-2-1からマンツーマンのチェンジングディフェンスで試合スタート。開始早々、沼津中央#8新井、#11福島の個人技で得点を重ねる。対する静岡学園は#4小川、#15瀧澤の3Pや#9保谷の力強いプレーで対抗する。静岡学園は沼津中央の1対1に対してスイッチしながら守ろうとするが、沼津中央のオフェンスを止めることができず、28-19沼津中央リードで1Q終了。

2Q 静岡学園#4小川、#8良知の3P、ドライブで反撃し徐々に点差をつめる。沼津中央は#6弓削田を中心にオフェンスを組み立てるがシュートを決めきることができず波に乗ることができない。静岡学園#9保谷の闘志あふれるゴール下のプレイでチームが勢いに乗り逆転に成功する。沼津中央の1対1を我慢して守り続けた静岡学園がこのクォーターで24-10と大きく点差を離れた。43-38、静岡学園リードで前半終了。

3Q 沼津中央#10村上のゴール下を中心にすぐに追いつき一進一退の攻防となる。静岡学園は#8良知のプレイク#9保谷のジャンプシュートで加点していく。沼津中央は#8新井、#11福島の1対1で得点を重ねる。お互いに相手を突き放すチャンスはくるが決め手を欠き、60-59沼津中央1点リードで3クォーター終了。

4Q 開始直後、静岡学園#9保谷の3Pが決まる。対する沼津中央はディフェンスのプレッシャーを強め相手のミス誘う。お互いに気迫のこもったプレイで主導権を渡さない。静岡学園#9のバスケットカウントや#4小川の3Pが決まり徐々に点差が離れたが、沼津中央も最後まで諦めない。一進一退の攻防が続いたが、気持ちで上回った静岡学園が77-74で競り勝ち、東海大会の切符を手に入れた。

戦評(文責) 佐々木 雅隆(城南静岡高校) | 記入者 立浪 雄樹(静岡市立高校)